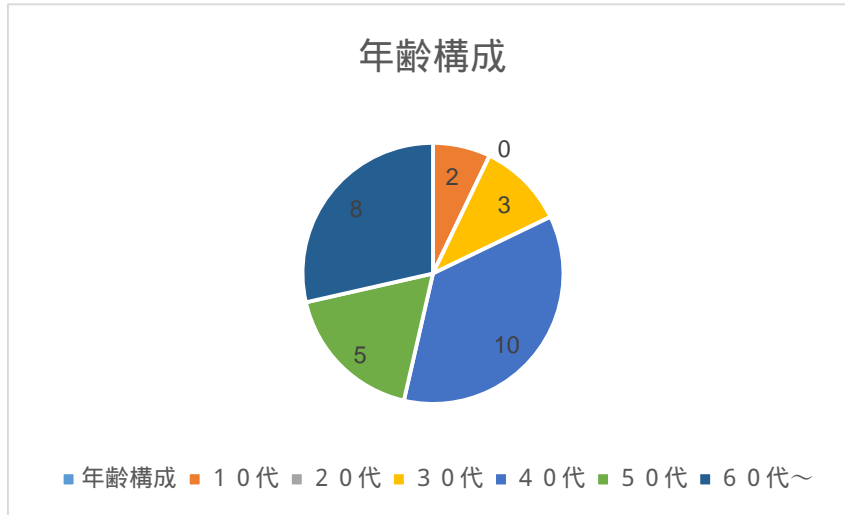


アプカシ（ロゲイニング）の結果について

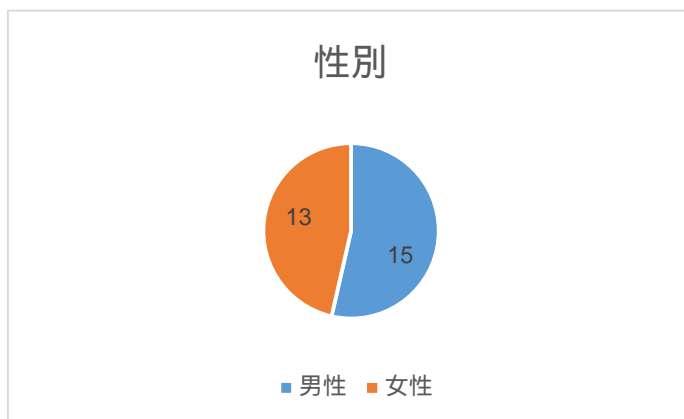
年齢



今回のアプカシ（ロゲイニング）（以下「アプカシ」と総称する）の参加人数は「28人」、年齢構成は上図のとおり「10代：2人，20代：0人，30代：3人，40代：10人，50代：5人，60代～：8人」であった。

参加者 28 人中 40 代が 10 人と全体の約 36% を占めており最も多く，40 代から 60 代の年代で 28 人中 23 人と全体の約 82% を占める年齢構成となった。

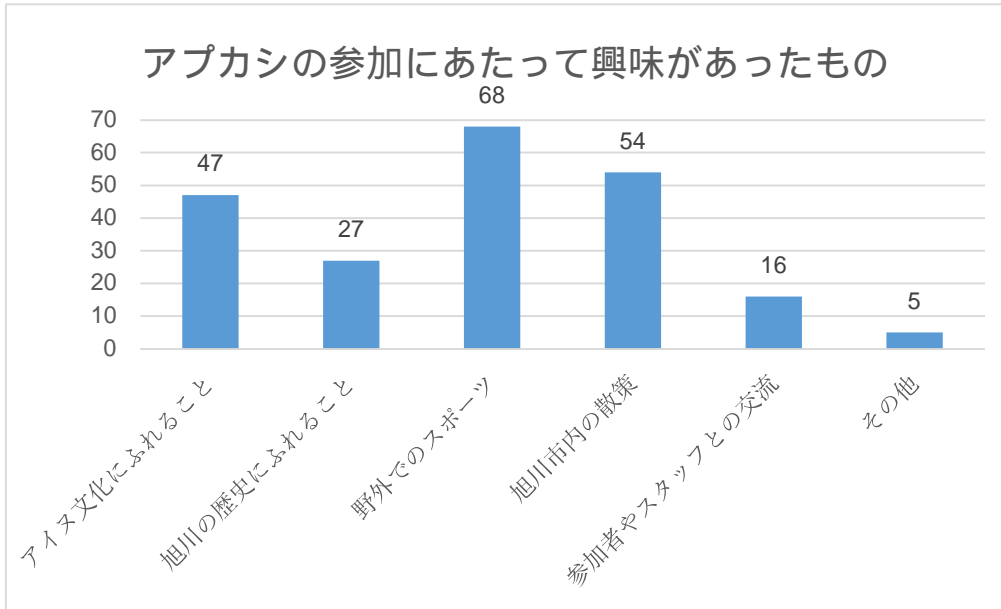
性別



今回のアプカシの参加者の性別構成は「男性：15人」，「女性：13人」の半々であった。自転車の部の男性が7名，自転車の部の女性が8名，ランニングの部の男性チームが2チーム（各2名），ランニングの部の女性チームが1チーム（2名），ランニングの部の混合が2チーム（男女ペア），ランニングの部ソロの男性が2名であった。

今回のアプカシの参加にあたって興味があったものに「1~3」の順位を記入

*今回は1位「5点」、2位「3点」、3位「1点」、順位ではなく を記入した場合は「1点」としてグラフを作成。



今回のアプカシの参加にあたって最も興味があったものは「野外でのスポーツ」という結果がでた。続いて「旭川市内の散策」、「アイヌ文化にふれること」、「旭川の歴史にふれること」、「参加者やスタッフとの交流」、「その他」の順であった。

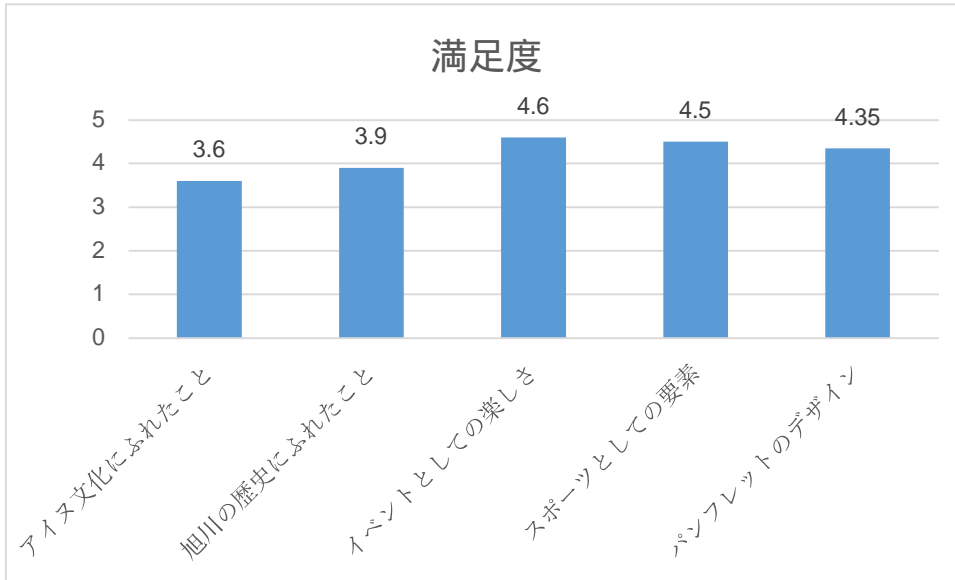
その他の意見として「ロゲイニング自体に参加したかった」、「ロゲイニングを経験したかった」という意見が3件でていた。

今回の参加者は、自転車やランニングなどのスポーツとしての要素を重要視している傾向にあった。また、旭川から参加している個人やチームが16組(札幌：3組，鷹栖町1組，名寄：1組，赤平：1組)いる中で「旭川市内の散策」が2番目に興味があったという点を見ると地元において、「地元を知るためのきっかけが欲しい」、「新型コロナウイルスの影響も考え地元で楽しみたい」という人が多かったのではないかと推測できる。

「アイヌ文化にふれること」も3番目に得点が高く、アイヌ文化に興味を持っている参加者も多いことがわかった。

今回のアプカシの満足度に関して

*今回は各項目の平均点を算出(5点満点)。

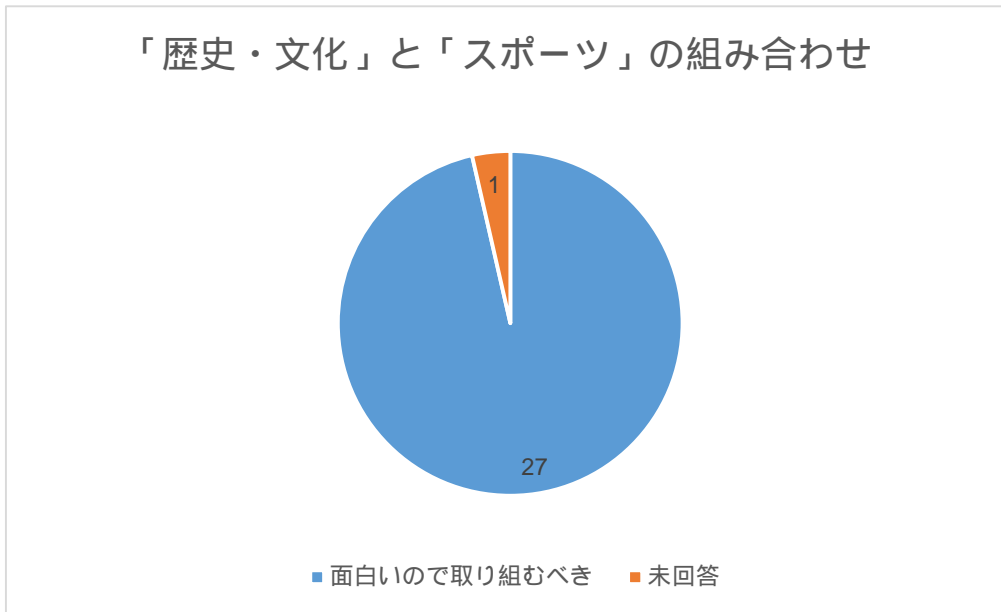


今回のアプカシの満足度で最も評価が高かったものは「イベントとしての楽しさ」という結果がでた。続いて「スポーツとしての要素」、「パンフレットのデザイン」、「アイヌ文化にふれたこと」、「旭川の歴史にふれたこと」の順であった。

野外でのスポーツに興味があった参加者が多い中、野外イベントとして「ロゲイニング」が受け入れられ、スポーツとしての要素も満足いく結果となった。

アイヌ文化にふれることに興味がありながら、満足度が「3.6点」となった要因としては、自由記述の中で「ゆっくりまわれず、駆け足で各スポットをまわったためアイヌ文化にふれられなかった」、「時間が短い」などの意見が5件ほど出ており、ロゲイニングで点数を稼ぐことに集中するあまりに各スポットに時間をかけることができなかった参加者の得点が反映されていると推測できる。イベント開催時間の検討や事前に各スポットの情報を参加者に与えるなどの工夫が必要である。

今回のような「歴史・文化」と「スポーツ」を組み合わせた取り組みについて



今回のアプカシのような「歴史・文化」と「スポーツ」を組み合わせた取り組みについて「面白いので取り組むべき」、「スポーツの取り組みは面白いが、歴史・文化を組み合わせる必要はない」、「歴史・文化の取り組みは面白いが、スポーツを組み合わせる必要はない」、「特に取り組む必要がない」の4項目でアンケートを行った。

結果、「面白いので取り組むべき」と回答した参加者が28人中27人(1人が未回答)であり、スポーツとしての要素を重要視している参加者が多い中、スポーツだけではなく「歴史・文化」にも興味を持ち、両者を組み合わせることに対して賛成の意見が多いことがわかった。

今回まわったスポットについて(自由記述)

・実際に行ってみて面白いと感じたスポット(20人回答)()は各スポットの記入回数
チノミシリ(嵐山展望台)(4), 人喰い刀岩・底なし沼(3), 神居古潭堅穴住居遺跡(2),
全てのスポット(2), カムイコタン(神居大橋), クツネシリ(神居岩), 神居古潭周辺, 国見
の碑, ノチウ, 川村カ子トアイヌ記念館, 旧旭川偕行社, 上川神社の紅葉, 上南部水神
宮, 全て, 充分楽しめた

上記のように「アイヌ関連スポット」が実際に行ってみて面白いと感じた参加者が多い
ことがわかった。意見として「ゆっくりスポットをみる余裕がなくわからない」というも
のが1件あった。

・今回行かなかったが興味のあるスポット(15人回答)()は各スポットの記入回数
カムイコタン(神居大橋)(5), クツネシリ(神居岩)(2), 国見の碑(2), 就実の丘(2), 男山
酒造り資料館(2), 中鶴根山展望台(2), 神居古潭周辺, ニツネカムイ史跡群, チノミシリ
(嵐山展望台), トユツソ(突哨山), 養蚕民家, 上南部水神宮, 自衛隊本部内, 雨紛ソフト
クリーム屋

上記のように全体的に市街地から遠い場所のスポットが多く, 移動手段が自転車やラン
ニングでの参加であったため, 「行きたいが諦めた」という参加者が興味のあるスポット
として選んだと推測できる。

・パンフレットに記載は「ない」が, 紹介したほうが良いと思うスポット
江丹別方面, 北邦野草園, 雨紛の森

・パンフレットに記載は「ある」が, 紹介しなくて良いと思うスポット
スキー発祥の地, 国見の碑(順路の記載がないため)

・あなたが知人などに案内するとすれば、どのようなコースにするか

*資料「アンケート調査 知人に案内したいコース」、資料「知人に紹介したいコース順位」

アンケートを集計し、以下の様な結果となった。

*28人中14人が回答

知人に紹介したいコース順位		
順位	スポット	記入数
1	三浦綾子記念文学館	8
2	高砂酒造明治酒蔵	7
	チノミシリ(嵐山展望台)	7
4	スタルヒン像	5
	アイヌ文化の森伝承のコタン	5
6	旭橋	4
	人喰い刀岩・底なし沼	4
	旧旭川偕行社	4
	上川離宮予定の跡	4
	旭山動物園	4
	国見の碑	4

今回のアプカシで知人に紹介したいコースの中で最も選ばれたスポットは上図の様な結果となった。アンケート記入数が「0」だったスポットは、「就実の丘」、「トゥツソ(突哨山)」、「北海道スキー発祥の地」、「知里幸恵文学碑」、「北の散歩道」の5カ所となった。「知里幸恵文学碑」、「北の散歩道」に関しては、訪問者数が多い中での「0」という結果であった。

・ 23組の参加者がアプカシ中に足を運んだスポットについて

* 資料「各スポット訪問者」, 資料「各スポット訪問者・ランニング」, 「各スポット訪問者・自転車」

ロゲイニングを集計し, 以下の様な結果となった。

* 23組が参加

各スポット訪問者順位・全体			各スポット訪問者数順位・ランニング			各スポット訪問者数順位・自転車		
順位	スポット	訪問者数	順位	スポット	訪問者数	順位	スポット	訪問者数
1	人喰い刀岩・底なし沼	23	1	上川倉庫群	7	1	人喰い刀岩・底なし沼	16
2	川村カトアイヌ記念館	21		手の噴水	7	2	旧笠原原酒造(日本醤油工業)	14
	知里幸恵文学碑	21		永山武四郎之像	7		高砂酒造明治酒蔵	14
4	旧笠原酒造(日本醤油工業)	20		旭橋	7		川村カトアイヌ記念館	14
	高砂酒造明治酒蔵	20		北の散歩道	7		知里幸恵文学碑	14
	アイヌ文化の森伝承のコタン	20		川村カトアイヌ記念館	7		アイヌ文化の森伝承コタン	14
	ノチウ	20		知里幸恵文学碑	7		ノチウ	14
	忠別太番屋の跡	20		人喰い刀岩・底なし沼	7		忠別太番屋の跡	14
9	三浦綾子記念文学館	18		鈴木亀蔵移住の地碑	7	9	三浦綾子記念文学館	12
9	上川倉庫	18		上川離宮予定地の跡	7	10	旭川市博物館	11
9	上川離宮予定地の跡	18	11	三浦綾子記念文学館	6		合同酒精旭川工場旧蒸留塔	11
				旧笠原原酒造(日本醤油工業)	6		北鎮記念館	11
				高砂酒造明治酒蔵	6		スタルヒン像	11
				北鎮記念館	6		チカブニ	11
				スタルヒン像	6		上川離宮予定地の跡	11
				アイヌ文化の森伝承コタン	6		手の噴水	11
				ノチウ	6		永山武四郎之像	11
				忠別太番屋の跡	6		旭橋	11
				チノミシリ(嵐山展望台)	6		鈴木亀蔵移住の地碑	11

今回のアプカシの参加者が最も足を運んだスポットは上図の様な結果となった。訪問回数が「0」だったスポットはランニングの部では「就実の丘」, 「中鶴根山展望台」, 「上南部水神宮」, 「トゥッソ(突哨山)」, 「養蚕民家」, 「レルヒ中佐像」, 「突哨山チャシ」, 「キピリヌプリ(上野ファーム)」, 「クッネシリ(神居岩)」, 「男山酒造り資料館」, 「旭山動物園」, 「旭川兵村記念館」, 「神居古潭竪穴住居遺跡」, 「ニッネカムイ史跡群」, 「カムイコタン(神居大橋)」の15カ所となった。自転車の部では「中鶴根山展望台」の1カ所となった。

自転車の部は満遍なく各スポットに足を運ぶことができているが, ランニングの部に関しては市街地から外れたスポットには行かないという傾向が顕著にあらわれていた。

・まとめ

知人に紹介したいコースとアプカシ中に足を運んだスポットの訪問者数が全てにおいてリンクしたとは言えないが、実際に足を運んだ場所を紹介したいという傾向は結果としてみられた。「国見の碑」、「旭山動物園」、「旭川偕行社」については、訪問者数が少ないにも関わらず、知人に紹介したいコースの中で多く出てきたスポットであった。旭山動物園に関しては、代表的な観光スポットであるためイメージがわきやすいが、「国見の碑」や「旭川偕行社」に関しては、実際に足を運んだ人が高い確率で満足しているのではないかと考えられる。自転車の部とランニングの部で共通していることは、東旭川方面へ向かう参加者が極端に少ないという点であった。各スポットの配置場所も関係はあるが、バスや自転車での交通手段としては動きづらく、効率よく各スポットを回ることができないためであると考えられる。

実際に行ってみて面白いと感じたスポットとして「アイヌ関連スポット」が多く、その中でも「神居古潭周辺」や「嵐山」周辺が非常に多かった。興味のあるスポットとして両者を挙げている参加者も多く、関心度の高さが伺えた。

今回の課題としては、「アイヌ文化にふれたこと」、「旭川の歴史にふれたこと」の満足度が他の項目より低く、「スポーツ性が高いため、ゆっくりと各スポットをみることができなかつた」という意見のとおり、アイヌ文化や旭川の歴史にふれたいという参加者がいる中で、スポーツ性だけではないところでアプローチをする必要があると感じた。事前に各スポットの情報を開示したり、イベント時間を長くするなどの工夫が必要である。

今回のアプカシのような「歴史・文化」と「スポーツ」の組み合わせについて「面白いので取り組むでき」と回答した参加者が28人中27人(1人は未回答)であった。この結果をみて、今後もこうした取り組みを行うことで、より多くの人に旭川の「歴史・文化」を発信し、旭川がスポーツをする環境に適していることをアピールできることがわかり、今回のアンケートを踏まえ、より発展させていくことが必要であると感じた。